

町立病院の改築事業者を選定

【フジタ・久米設計・岩倉建設・岩崎組特定建設工事共同企業体】

病院改築事業は、公共工事における新たな発注方式の一つである設計施工一括発注（デザインビルド）方式を町としては初採用し、公募型プロポーザルで事業者選定に向けた準備を進めてきました。

1月16日(日)に7事業者による公開プレゼンテーションが行われ、コストコントロールや建築計画、設備計画、病院の安心・安全、地元貢献などについての提案内容が事業者選定委員会により総合的に評価され、上記共同企業体が最適提案者として選定されました。

今後、最適提案者とともに町民の皆さまが一日も早く心地よい環境で受診できる新しい病院づくりを着実に進めてまいります。



公開で行われた事業者プレゼンテーション

問い合わせ先：政策推進課 都市企画グループ ☎82-8213

北海道赤レンガ建築賞受賞 「マザーズプラス mother's+」

～地域貢献と景観が評価～

道が地域社会の発展に貢献する創造性豊かな建築物を表彰する同賞に、北海道種鶏農場（川上一弘代表取締役）の物販店舗「マザーズプラス」=写真は高崎建築写真工房提供=が選ばれました。竹中工務店北海道支店が施工しました。町とともに町民への貢献を第一に、養鶏業の事業展開に沿った建築が新たな景観を生み出している一と評価されました。川上代表取締役は「思いがけない賞をいただき、素直にうれしいです」と表情をほころばせています。受賞建築物は庁舎や駅舎、道の駅など公共的な性格の建築物が多い中、今回は産業（養鶏）に注目した受賞。「その辺が最もうれしい。卵を切り口に地産地消に取り組み、町民や近隣、施設を訪れるお客さまに愛される施設として地道に取り組んできた地元との密着も評価していただけたのかなと思っています。従業員一同精進していきたい」とさらなる意欲を見せていました。



戸田町長が歴史姉妹都市の仙台市を表敬訪問

郡仙台市長（右）と和やかに懇談する
戸田町長、松田町議会議長



昨年の歴史姉妹都市提携40周年記念を機に、友好関係を深めようと1月7日、戸田安彦町長、松田謙吾町議会議長らが仙台市を訪れ、郡和子市長らと懇談しました。これまでのスポーツや姉妹校交流、東日本大震災、胆振東部地震など災害時の相互支援を和やかに振り返り、さらに交流を進め、相互のつながりを深めることを確認しました。

来場者2千人を超える大好評

町は8、9日、同市内の商業施設でアイヌ文化プロモーションを開催し、特設会場で白老民族芸能保存会会員がムックリ演奏やウポポ（座り歌）を披露しました。ウポポイと町のパンフレットの配布をはじめ、特産品の販売を行うなど、アイヌ文化の理解促進と町の魅力発信に取り組みました。1月29日には福岡で同様のイベントを開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染状況に伴い、延期しました。

